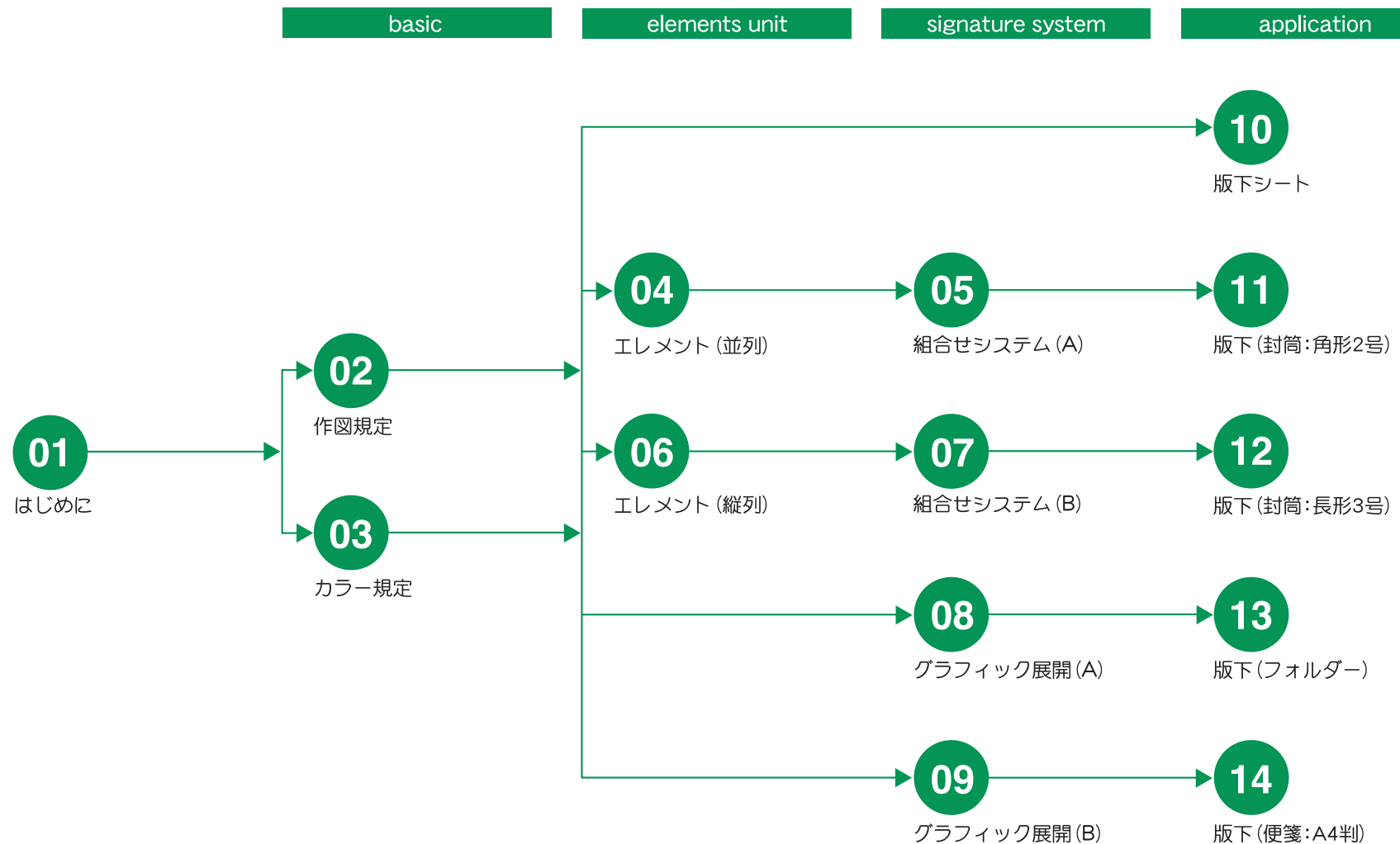


今回のシンボルマーク誕生に合わせ、付随して使われることの多いエレメント（組織名や所在地）ユニットや組合せを体系化しました。
これらの一連の関係を示したコンテンツが、下記のデザインツリー（系統樹）となります。



[びじゅつ科]のシンボルマークができました。

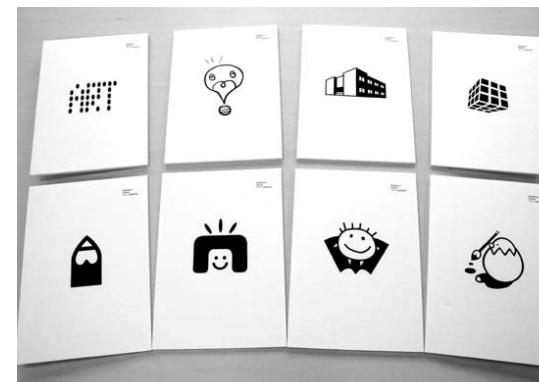
実際に美術選修・専攻の宣伝プロモーションに用いるのを目的に、
4年生のゼミ科目「デザイン研究」の課題で取組んだものです。
採用作品は「楽しい美術」を表現していますが、
実はこれ「美術第一実習棟（ピロティのある建物）の俯瞰図」にもなっているんです。

採用作品には、微細な作図上のバランスを調整し、
長きにわたってイメージがブレることなく使えるようにしました。

また、せっかくシンボルマークが制定されても、
マークとエレメントの表示体系が整備されていない事例は大企業でも多く見受けられます。
これでは使用する度に、その場凌ぎで組織名や所在地が組並べられるため、
著しくバランスを欠く視覚サインが乱造されることになりますね。
そこで、今回のシンボルマーク誕生に合わせ、
使用上の規定も整備しました。

みなさん、どうぞ可愛がってください。

2009年6月

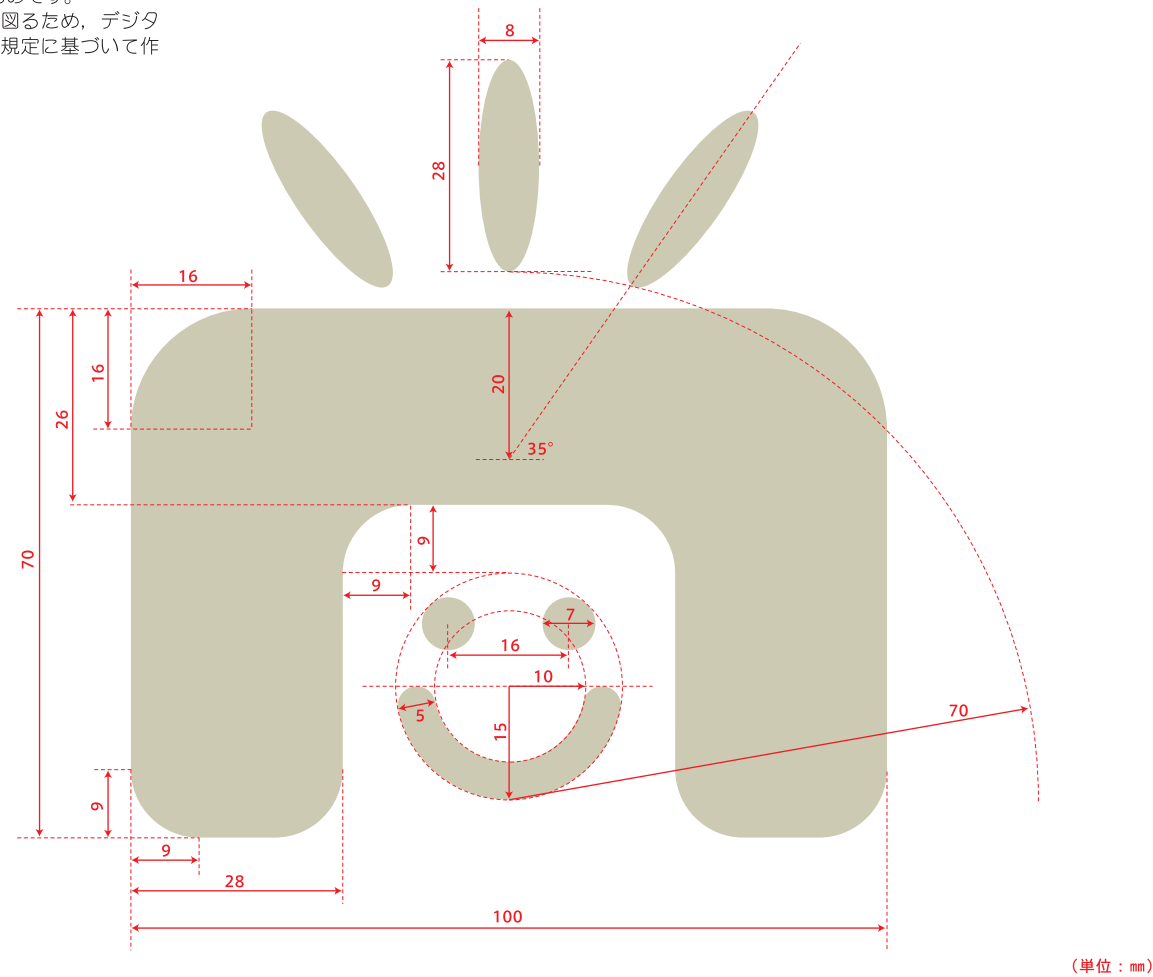


最終的に8点の中より選ばれました。



〔図-1〕は、愛知教育大学 教員養成課程美術選修・専攻のシンボルマーク作図規定です（2009.06）。
各種の展開に耐え得るように、精緻化したものです。
使用にあたっては、視覚イメージの統一を図るため、デジタルデータを用いてください。または下記の規定に基づいて作図してください。

〔図-1〕 作図規定



〔図-2〕は、シンボルマークの基調カラーです。
基調カラーの他、状況に応じて〔図-3〕に示すようにサブカラー展開も許容とします。また、白抜き也可以使用できます。

DIC・388
C90 + M20 + Y90

〔図-2〕 基調カラー



12p (Helvetica Regular) — aichi university of education ■ art education © 2009

〔図-3〕 カラー展開



DIC・170
C50 + Y100



DIC・157
M100 + Y60



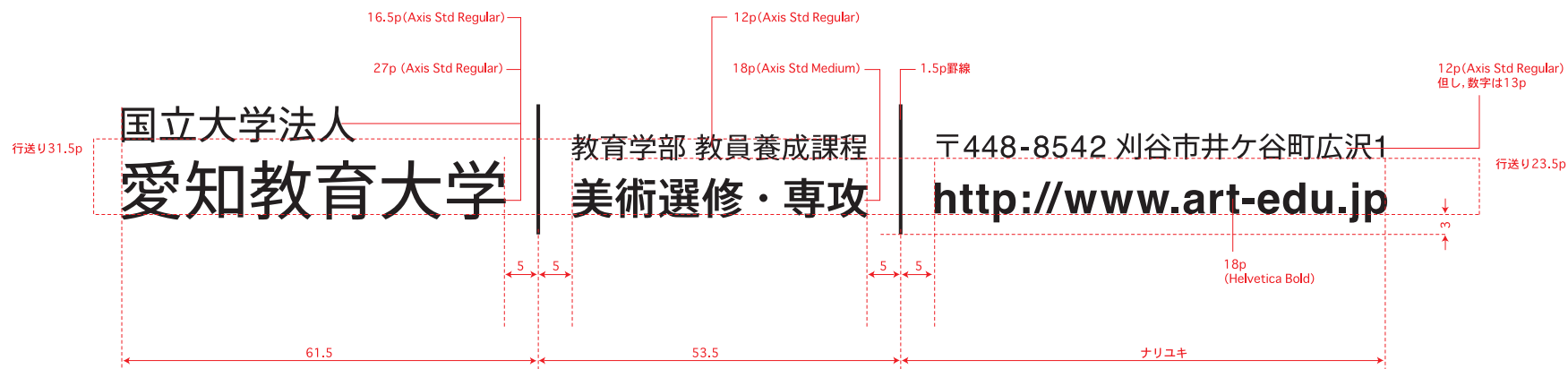
DIC・222
C100 + M60

ミニマム（細小）規定は「図-4-2」で示しました。このばあい書体のツブレを防ぐため「美術選修・専攻」の使用フォントは「Regular」となりますので注意してください。

〔図-4-2〕 ミニマム規定(〔図-4-1〕の50%)



〔図-4-1〕 エレメント表示体系(並列組)

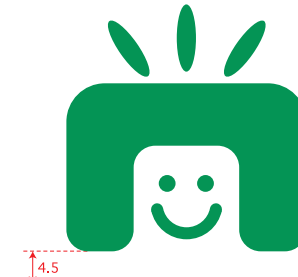
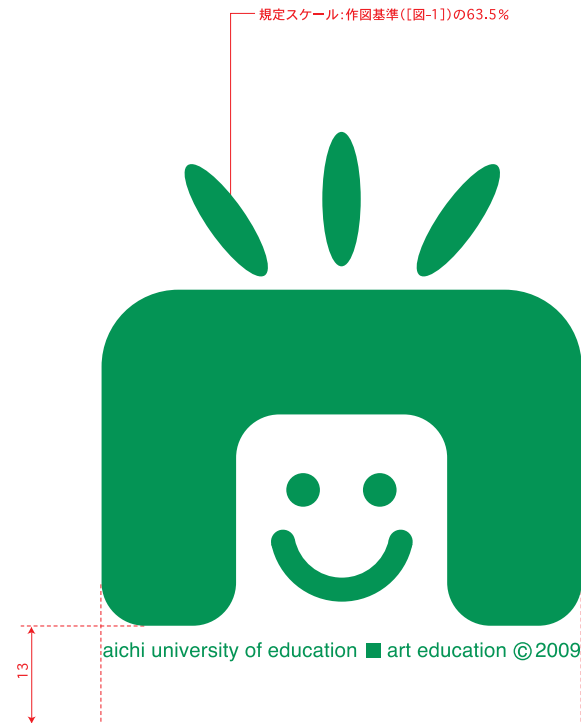


エレメント（教育組織や所在地）の並列ユニットと、シンボルマークとの配置関係を〔図-5-1〕で示します。これらは基本的に同一カラー展開とします。

〔図-5-2〕は、そのミニマム（最小）での使用例です。このあいエレメントに関してはブラックも許容とします。また、ミニマム使用では「aichi university of education」等のクレジットは付しません。

〔図-5-2〕 ミニマム規定（〔図-5-1〕の50%）

〔図-5-1〕 シグネチャシステム
—— シンボルマークとエレメント（並列組）



国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>

国立大学法人
愛知教育大学

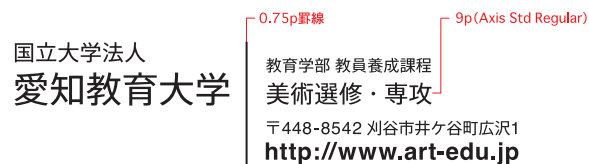
教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>

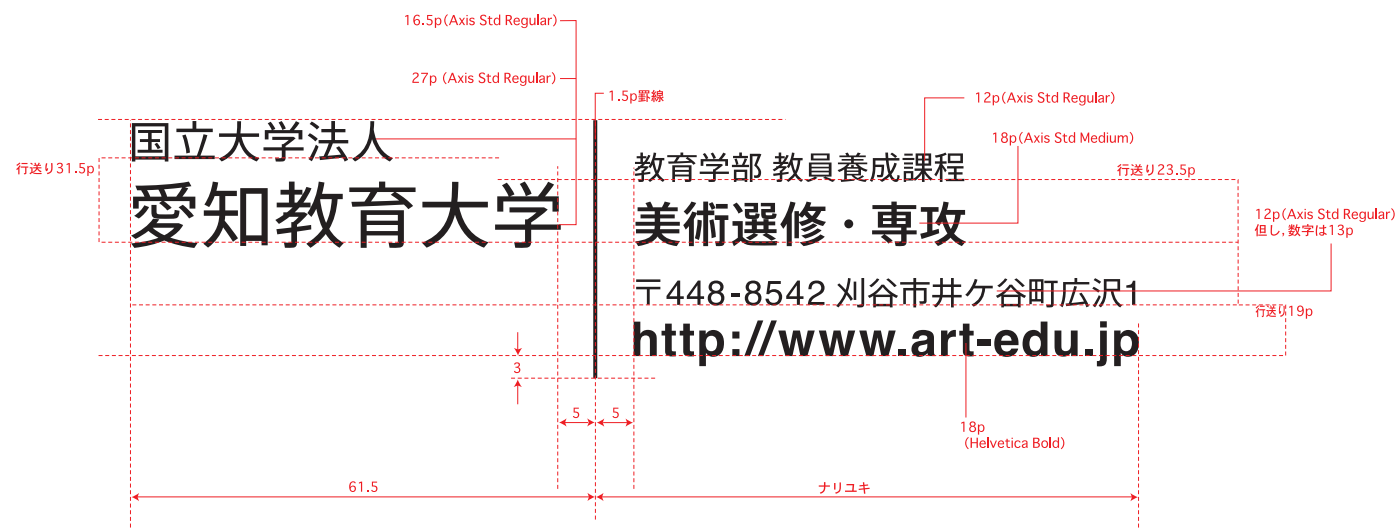
シンボルマークに付随して使われることの多いエレメント（組織名や所在地）ユニットの縦列組の規定が〔図-6-1〕です。

ミニマム（最小）使用のばあいには〔図-6-2〕で示したように、書体のツプシを防ぐため「美術選修・専攻」の使用フォントは「Regular」となります。

〔図-6-2〕 ミニマム規定（〔図-6-1〕の50％）



〔図-6-1〕 エレメント表示体系（縦列組）



エレメント（教育組織や所在地）の縦列ユニットと、シンボルマークとの配置関係を〔図-7-1〕で示します。これらは基本的に同一カラー展開とします。

〔図-7-2〕は、そのミニマム（最小）での使用例です。このあいエレメントに関してはブラックも許容とします。また、ミニマム使用では「aichi university of education」等のクレジットは付しません。

〔図-7-2〕 ミニマム（〔図-7-1〕の50%）

国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻
〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>



〔図-7-1〕 シグネチャシステム
—— シンボルマークとエレメント（縦列組）

国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>



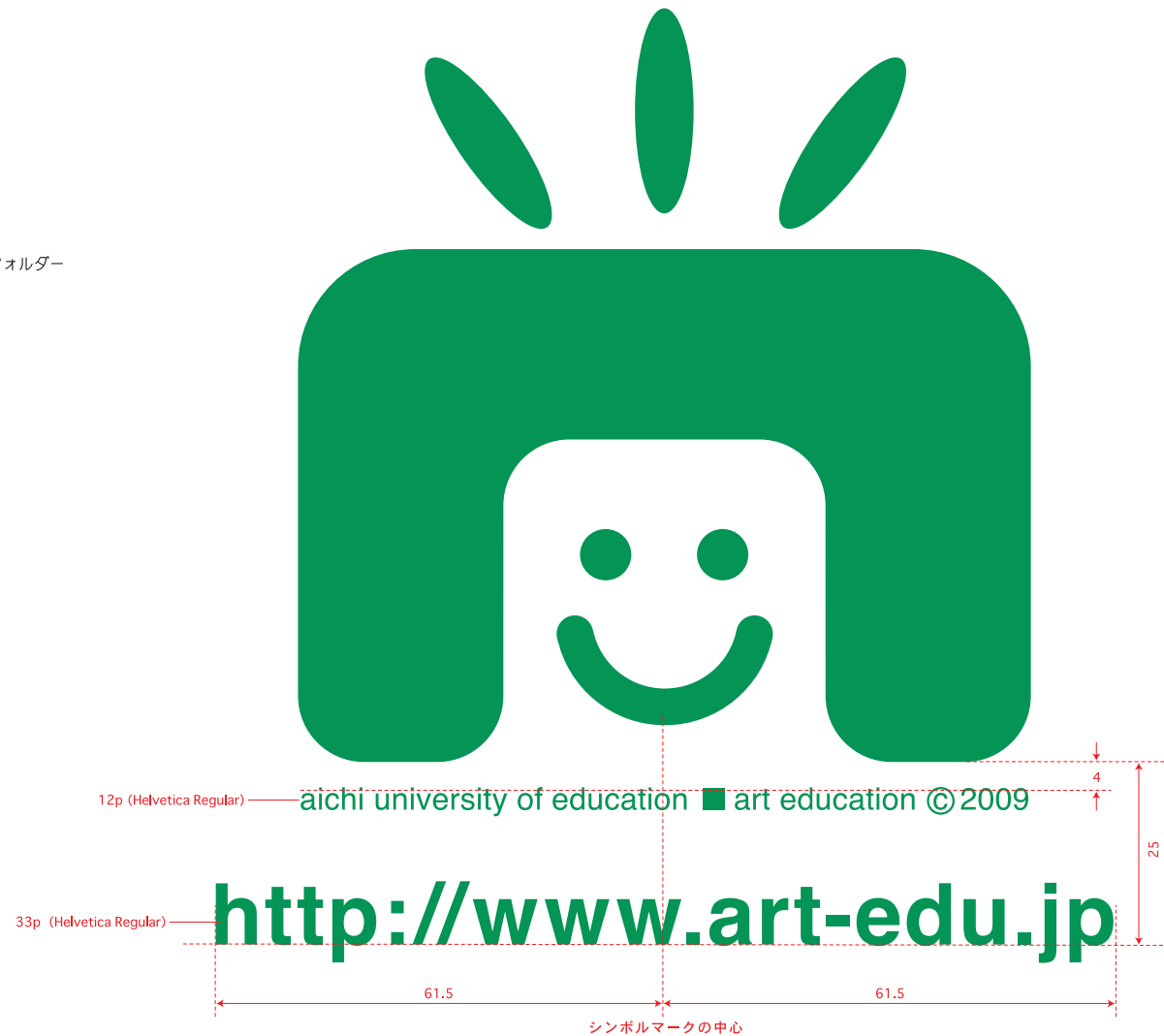
aichi university of education ■ art education © 2009

a以上を確保 a

規定スケール: 作図基準〔図-1〕の50%

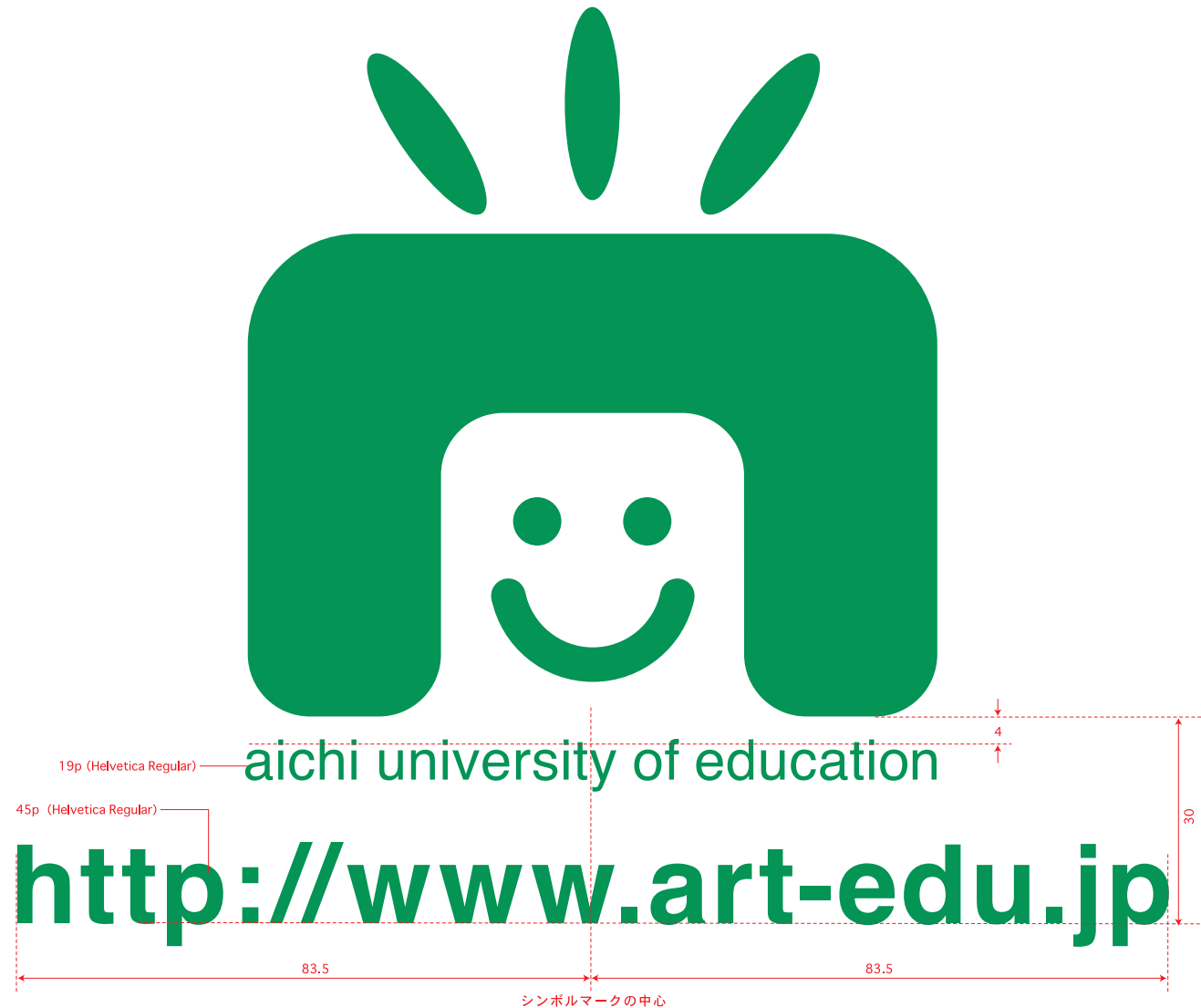
シンボルマークを中心としたグラフィック展開例です。
[図-8] はフォルダーに用いたケースです。白抜きの使用もできます。

【図-8】 グラフィック展開例:フォルダー



シンボルマークを中心としたグラフィック展開例です。
[図-9] は便箋に用いたケースです。

【図-9】 グラフィック展開例:便箋



■ 版下データ (各種)

国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>



aichi university of education ■ art education © 2009



aichi university of education

<http://www.art-edu.jp>



aichi university of education

<http://www.art-edu.jp>



aichi university of education ■ art education © 2009

国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>



国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>

国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>

■ 角型2号(240×332mm)封筒

規定スケール:[図-7-1]の100%



aichi university of education ■ art education ©2009

国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻

〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>

25

■ 長形3号(120×240mm)封筒

規定スケール:[図-7-2]の100%



国立大学法人
愛知教育大学

教育学部 教員養成課程
美術選修・専攻
〒448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢1
<http://www.art-edu.jp>



■ 版下(フォルダーでの展開)

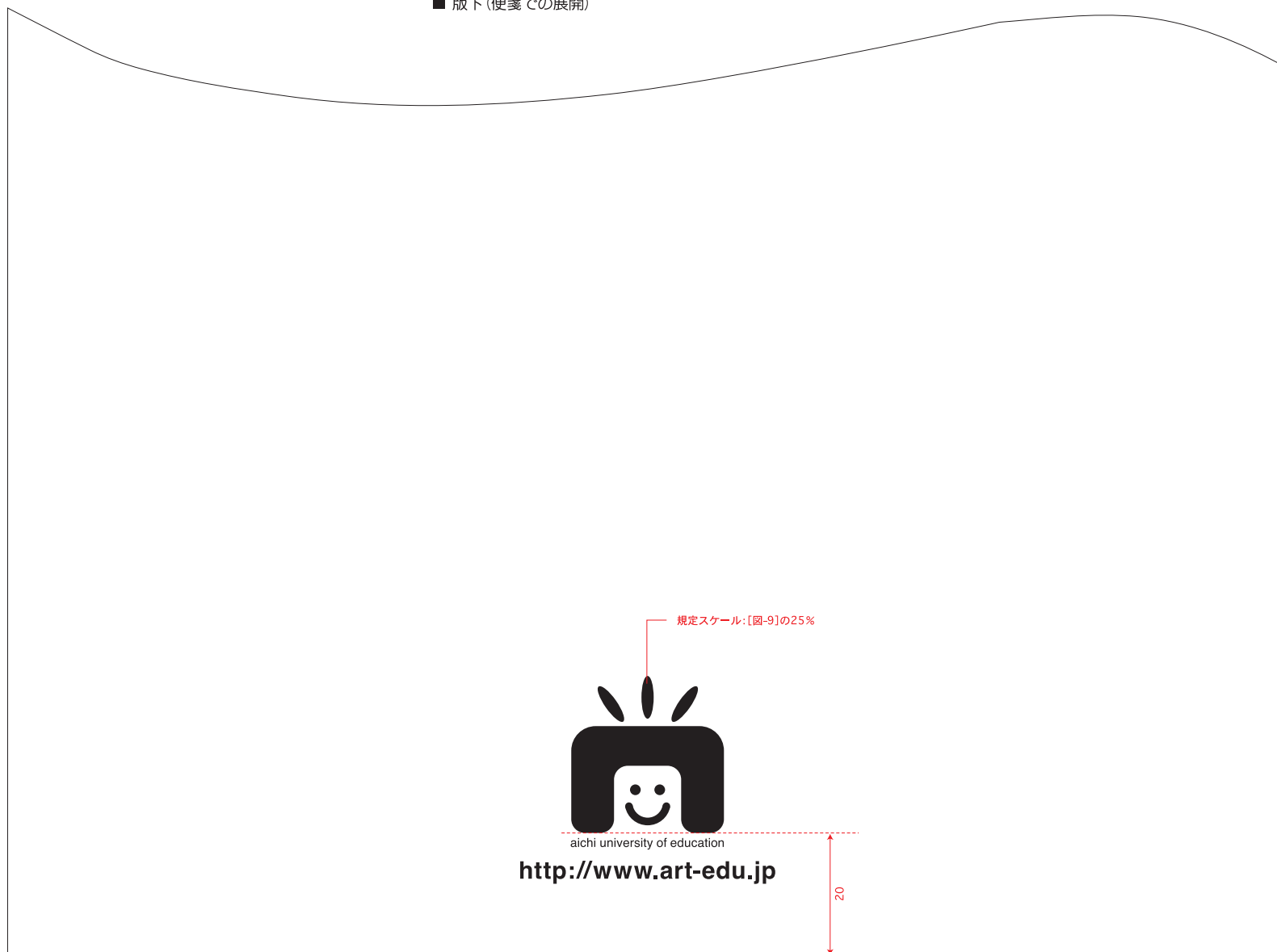


aichi university of education ■ art education ©2009

<http://www.art-edu.jp>



■ 版下 (便箋での展開)



美術科シンボルマーク・プロジェクト

■プロデュース／教員養成課程 美術選修・専攻 担当教員（ふじえみつる, 儀部洋司, 竹井 史, 鷹巣 純, 松本昭彦, 野澤博行, 宇納一公, 富山祥瑞, 樋口一成）

■マネージメント／松本昭彦, 竹井 史, 樋口一成（以上, 教員）

■シンボルマーク・イラスト／石川奈津紀（デザイン研究室4年）

■デザインシステム／富山祥瑞（教員）

■シンボルマーク・イラスト・コンペ参加／石川奈津紀, 加藤 純, 加藤沙也佳, 木下由衣, 中西菜津希, 加藤浩司（以上, デザイン研究室4年）

（制定／2009年）